

平成28年12月15日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(42回公演)報告  
28.12.12 社協デイサービスセンター 熊谷市弥藤吾

熊谷市社会福祉協会からの4回目の依頼で、直営のデイサービスセンタークリスマス会の公演に行ってきました。公演は午後2時50分からで、2時に「妻沼道の駅」に集まり、そのから10分もかからない距離にある施設を5人のメンバーで伺いました。

予め電話で連絡していた菊池さんの出迎えを受けて部屋に通され、着替えをして開演を待ちました。今日はデイサービスの利用者と職員の方々を合わせ25人程の公演です。

菊池さんからクラブの紹介があった後、こちら側からも短い挨拶をして舩田さんの音頭で「南京玉すだれ」の演技が始まりました。

皆さんは目の前で「玉すだれ」の演技を見るのが初めての様子で、次から次に変化するスタレの形に目を丸くし、驚きの声があちらこちらから聞かれました。

「玉すだれ」のルーツや変化するスタレの仕組みの話をし、玉すだれを直接手に触れて重さと感触を味わってもらいました。どこの施設へ行ってもこの時間帯は人気があり、今回も阿弥陀如来を表現した大きな円形に変化させたスタレを持って、職員の方のカメラに得意そうなポーズで収まっていた。

根岸さんが行う健康体操「サザエさん」が終わり、最後に栗原さんから「東京オリンピックを一緒に見に行きましょう。それまで元気でいましょう。」という励ましの言葉で「東京五輪音頭」が始まり、予定した演技が全て終わりました。客席からは「アンコール、アンコール」という声がかかり、それに応え「麦畑」を演じました。最後に利用者の代表者の方から「立派な演技を見せていただきありがとうございました。」という感謝の言葉をいただき、高齢者の方々と手に手を取り合って再会を約束し退出しました。



